FOOMA JAPAN 2014国際食品工業展

INTERNATIONAL FOOD MACHINERY & TECHNOLOGY EXHIBITION

日本食品機械工業会主催の「FOOMA JAPAN2014（国際食品工業展）」が10日（火）から13日（金）までの4日間、東京・有明の東京ビッグサイト東展示棟で開催される。食品機械を中心に原料処理から製造、物流に至るまで食品製造プロセスに関わるあらゆる企業が集結。アジア最大級の「食の技術の総合トレードショー」として催される。開催時間は10時から17時まで。ウェブサイトで事前登録すれば入場料の1000円は無料となる。

食品製造効率化

FOOMA JAPANは今回で37回目の開催。今年のテーマは「食の未来を探しに行こう。」で、原料処理、食品製造、包装や充填、計測、衛生対策、物流などの668社が集結。食品製造プロセスの効率化と自動化を図るための最新鋭の製品や最先端テクノロジーを展示する。

近年、FOOMA JAPANは継続出展社が多い傾向で、今回も前回以上に出展申し込みが早く早期に満小間となった。昨年から継続出展社率は84%に達する。出展社の数は前回の725社からすると少なくなっているが、1社あたりの出展面積が拡大。そのため総出展面積では前回の2万6739平方㍍から今回は2万8072平方㍍となった。食品製造プロセスに関わる企業にとって、最先端の技術や製品などを発信する機会としてFOOMA JAPANは出展効果が高く、期待されているからこそと言える。

出展社は分野別で見ると「食品製造・加工」が31・6%と最も多く、「包装・充填」が18・2%、「設備機器・技術・部品」が13・7%、「衛生対策・管理」が8・0%、「原料処理」が6・9%と続く。食品製造・加工の内訳では菓子・パン系が3割強を占めるが、最近では次いで食肉や水産物系も増加傾向にある。

進化するロボット

最近の食品工場では正確性やスピードなど生産性の向上はもちろん、安全性や衛生管理など製造現場からのニーズは多様化している。これらの要望に応えるため開発された、進化を続ける食品機械のロボット化は同展の大きな見どころとなる。中小規模の食品工場ではまだまだ手作業の工程も多く、作業効率化や高度な衛生管理、安全確保などの点から、ロボット導入が求められている。

こうしたことから食品機械だけでなく、自動車分野などに代表される産業用ロボットメーカーも出展しており、最新技術をアピールする。食品工場へのロボット投入は多岐にわたる食材やその製造工程、一つひとつごとに開発が必要となる。出展各社がニーズをきめ細かく拾い上げ製品化した技術が披露される。

今年の会場内ではリアルタイムに3次元画像処理で不定形のワークを確実にピックアップするシステム、串団子のパック詰め用ロボットシステム、またすしロボットでは業界最速の1時間4300巻のしゃりを握れるしゃり玉ロボットなども登場する。

日本食を海外へ

少子化の進展や国際規格対応などから、食品製造関連企業はグローバル化対応を急ぐことが重要課題となっている。グローバル市場をにらんだ食品機械の輸出拡大も大きなテーマとなる。「日本食」ブームが世界で広がり、日本の食文化や食品機械に対する関心は高まっておりチャンスの時期と言える。

ただ、日本食品機械工業会調べによると2013年の食品機械の輸出額は前年比5・4%増の343億円に達するものの、総出荷額に占める輸出比率はまだ1割未満に留まるとみられる。FOOMA JAPANでも食品機械市場が成長する新興国向けなどを見据えた、国際的な衛生管理ガイドラインを用いた設計、製造方法などの情報発信の機会となる。

会場では海外機関や駐日大使館などが各国の食材や市場動向、投資環境など海外進出に関する情報を提供する「グローバルスペース」が設置される。米国、オランダ、チェコ、インドネシア、シンガポールなど13カ国から14の大使館・機関・団体がブースを設ける。

近年、海外からの来場者も増加傾向で昨年は2400人が来場。「今年は東アジアからの団体客を中心に問い合わせが来ている」（FOOMA JAPAN運営事務局）とし、さらなる増加が見込まれる。

出展社とコミュニケーションをスムーズに進められるよう、英語、中国語、韓国語を話せる出展社スタッフには専用のバイリンガルバッジを配布。また会場内サインの英語表記、インターナショナルラウンジでのドリンク提供など、海外来場者向けサービスの充実も図られている。

10日(火)―13日(金)　東京ビッグサイト

まもなく開幕

アジア最大級 食の総合トレードショー

ごあいさつ

食品製造プロセスの最新情報

FOOMA JAPAN展示会実行委員会　委員長　櫻澤（さくらざわ）　誠（まこと）

FOOMA JAPANは、食品製造プロセスのあらゆる分野を網羅したアジア最大級を誇る、食の技術の総合トレードショーとして着実に成長してまいりました。経済状況に大きく左右されることなく、例年10万人規模の安定した集客を誇り、また近年、海外からの来場者も増加傾向にあるなど出展社からも出展効果において高い評価をいただいております。

37回目となる今回は、出展社数が668社となりました。FOOMA JAPANは特定の分野に集中することなく、「食」に関わる全ての分野を網羅した他に類を見ない食品機械の総合展示会です。

FOOMA JAPANは新製品・新技術の発表の場として、高い期待を多くの関係者からお寄せいただいており、主催者一同、身の引き締まる思いです。

昨今、国内市場においては産業競争力強化法の施行などにより、設備投資への環境が整備されつつあります。こうした状況のもと、食品ビジネスの成長や発展を考え、取り組みいただく方々におかれましては、最新の設備、機械と情報がそろったFOOMA JAPANを最大限ご活用いただければと願っております。

FOOMA JAPAN 2014のテーマは「食の未来を探しに行こう。」です。「食の安全・安心」をベースとした製品づくりはもちろん、食品ビジネスにおいて関心の高いテーマである食品製造プロセスの効率化・自動化をはじめとする最新鋭の製品・サービスの展示や実機デモンストレーションなどを直接ご覧いただき、食の未来をご確認いただきたいと思います。

食品にやさしく 驚きの強力洗浄
AQUA・WASH
食品洗浄機　アクアウォッシュ シリーズ
大型コンベアタイプ　アクアウォッシュ TWS-1300A
小型シンクタイプ　アクアウォッシュ・キューブ TWS-115
エアー＋循環水＋水道水を、ひとつのエジェクタから同時に低圧噴射。ソフトな「水流」と微細な「泡」により、食品をやさしく隅々まで洗浄します。
食品洗浄の新発想「クリアウェーブ水流」
TIGER Kawashima　株式会社 タイガーカワシマ　本社・工場　〒374-0134 群馬県邑楽郡板倉町大字籾谷 2876　TEL.0276-55-3001(代) FAX.0276-55-3006 http://www.tiger-k.co.jp/
≫詳しくは、ホームページをご覧ください。　タイガーカワシマ　検索

《FOOMAブースNo. 東3ホール 3C−20》
DLC ドラムレス スパイラルコンベヤ
純国産のドラムレス スパイラル コンベヤを下入れ下出しにしました。（下降装置がいりません。）
バーティカル プロセッシング システム
コンパクト設計で空間の有効活用できます。熟成、冷凍、冷却発酵、蒸し、乾燥等、さまざまな用途に使用可能です。
MTX ボウル転倒式ハイスピードミキサー
ソフト生地からハード生地まで幅広く対応可能な、ビスケットハイスピードミキサーです。
三鈴工機株式会社
http://www.misuzukoki.co.jp
E-mail : info@misuzukoki.co.jp
本社営業部　三重県四日市市楠町北五味塚530番地　TEL 059-397-3211　FAX 059-397-3217
東京支店　東京都港区芝大門1丁目2番1号（大門KSビル3階）　TEL 03-3434-2936　FAX 03-3434-2939
大阪支店　大阪市中央区南船場2丁目10番20号（南船場溝呂木ビル5階）　TEL 06-6241-1091　FAX 06-6241-1093
■カタログの請求、お問い合せは
FFA & MHE MISUZU
MISUZUKOKI CO.,LTD. 20001923 ISO9001

走り続ける技術 はかり続けて半世紀
50th オートチェッカ50周年
確かな品質管理が求められる今
アンリツは、見逃しません。
【累計販売台数】7,000台以上（2013年3月末現在）
0.2mmの信頼。2000年以来の実績。
X線異物検出機
●標準／高感度／ドライ商品専用モデル
●特定用途向け　●デュアルエナジーセンサ 搭載モデル
アンリツは、心臓部から自社開発。
アンリツは、心臓部であるX線出力制御ユニットや信号処理回路から画像処理アルゴリズムまで、すべて自社開発。金属球φ0.2mmの最高検出感度や、噛み込み検査など各種の機能を実現しました。
Anritsu
アンリツ産機システム株式会社
http://www.anritsu-industry.com/ja-JP/
〒243-0032 神奈川県厚木市恩名5-1-1　TEL(046)296-6700（代）
アンリツ　X線　検索　出展情報 FOOMA JAPAN 2014国際食品工業展　東ホール 1W-10

ISHIDA
イシダがつなぐ、食の安全・安心
NEW 新製品多数リリース
光学式かみこみ検査装置　金属検出機
オートケーサー　ウェイトチェッカー
FOOMA JAPAN 2014
展示ブースのご案内　会期: 2014年6月10日(火)～13日(金) 10:00～17:00　会場 東京ビッグサイト 東3ホール 3W-20
株式会社イシダ　www.ishida.co.jp
滋賀事業所　滋賀県栗東市下鈎959番地の1　TEL 077-551-0190(直)
東京支社　東京都板橋区板橋1丁目52番1号　TEL 03-3962-4300(直)
大阪支店　大阪府吹田市江の木町26番20号　TEL 06-6310-9282(代)
本社　京都市左京区聖護院山王町44番地　TEL 075-771-4141(代)